



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	21年末株価
NYダウ	35,911.81	-201.81	-0.56	-0.88	-1.17	36,338.30
NASDAQ	14,893.75	86.94	0.59	-0.28	-4.80	15,644.97
日経225	28,124.28	-364.85	-1.28	-1.24	-2.32	28,791.71
上海総合	3,521.26	-34.00	-0.96	-1.63	-3.26	3,639.78
滬深300 (CSI300)	4,726.73	-39.19	-0.82	-1.98	-4.32	4,940.37
ハンセン	24,383.32	-46.45	-0.19	3.79	4.21	23,397.67
中国企業	8,554.79	-47.59	-0.55	3.93	3.87	8,236.35

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は3.8%高と4週続伸、上海総合指数は1.6%安

香港市場ではハンセン指数が週間で3.8%高と4週続伸した。週前半は中国政府の景気下支え策に対する期待に加え、中国の物価統計の下振れを受けてインフレ懸念が後退。米長期金利の低下も好感され、大型ネット株への買いが続いた。週後半は利益確定売りに加え、中国の主要経済指標の発表を控えて様子見ムードが漂った。本土市場では上海総合指数が1.6%安と続落した。節目の3600ポイントに近づくと売り圧力が強まる展開。新型コロナの感染拡大による行動制限の強化も嫌気され、約2カ月ぶり安値をつけた。

今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、新型コロナの感染拡大で警戒感

香港市場は上値の重い展開か。ハンセン指数は先週まで4週続伸で節目の24000ポイントを超えてきただけに利益確定売りが出やすい。加えてオミクロン株の流行で香港では夜間の外出禁止など防疫措置の強化期間が2月3日まで延長され、中国では首都北京でもオミクロン株の感染が確認された。中国政府による景気対策への期待は根強いものの、行動制限強化による景気への影響が警戒されそう。一方、本土市場は堅調な展開か。足元の下落で割安感が強まっており、大きく下げた銘柄を中心に買い戻しが期待できそう。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 薬明生物技術 (02269)	92.30	14.30
2 阿里健康 (00241)	6.89	9.71
3 石業集団 (01093)	9.60	9.34
4 HSBC (00005)	54.55	8.88
5 海底撈国際 (06862)	18.14	8.23
6 美团 (03690)	220.60	8.14
7 碧桂園服務 (06098)	43.40	7.56
8 CNOOC (00883)	9.20	7.10
9 テセント (00700)	473.40	6.86
10 JDドットコム (09618)	287.00	6.77

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 碧桂園 (02007)	6.39	-9.75
2 バドワイザーAPAC (01876)	20.10	-6.07
3 創科実業 (00669)	139.40	-4.85
4 万洲国際 (00288)	4.89	-2.98
5 華潤ビール (00291)	58.15	-2.76
6 招商銀行 (03968)	61.90	-1.82
7 華潤置地 (01109)	35.65	-1.52
8 舜宇光学科技 (02382)	219.80	-1.17
9 Link REIT (00823)	67.15	-1.10
10 中国海外発展 (00688)	22.10	-0.45

▼今週の主なイベント

- 1月17日(月)
- 【米国】キング牧師生誕記念日で休場
- 1月20日(木)
- 【中国】最優貸出金利(1月)
- 1月21日(金)
- 【香港】GDP速報値(10-12月)

▼今週の期待材料

- ◆1月31日から中国の旧正月連休開始、資金需要が高まる連休前に追加金融緩和への期待が高まる可能性も
- ◆中国の10-12月期GDP速報値が4.0%増、前期比で減速も市場予想を上回る強い結果に
- ◆中国当局が不動産企業の負債規制を緩和、優良企業による債務危機企業からのプロジェクト買収を後押し

▼今週の懸念材料

- ◆米国の金融正常化の早期化観測強まる、ハト派のブレイナードFRB理事が3月の利上げを示唆
- ◆香港政府が新型コロナの防疫措置強化期間の延長を発表、2月3日まで夜間の外出禁止を継続
- ◆中国で新型コロナの新規感染が高止まり、北京冬季五輪開催まで3週間を切るなか北京でも感染が見つかる

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ シンガマス・コンテナ (00716) : 21年12月は需要回復で純利益39倍超の見通し
- ☆ 華能国際電力 (00902) : 21年の電力販売量が13%増加、10-12月は3%増
- ☆ サンズ・チャイナ (01928) : マカオ政府がカジノ法改正案公布、政策リスク後退
- ☆ 申洲国際集団 (02313) : 新型コロナの地域指定解除で寧波の工場が全面再開
- ☆ 紫金鉱業集団 (02899) : 21年12月本決算は採掘量増加で純利益2.4倍の見通し
- ☆ 招商銀行 (03968) : 21年12月本決算は速報値で23%増益、市場予想上回る
- ★ 中国国際航空 (00753) : 12月の旅客数が37%減少、貨物輸送量は15%減
- ★ 中国平安保険 (02318) : 12月の保険料収入は2%増加も通期では5%の減少
- ★ 中国人寿保険 (02628) : 21年の保険料収入は1%の微増、12月は0.4%減
- ★ 広州富力地産 (02777) : フィッチが長期債務格付けを「部分デフォルト」に引き下げ

レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。